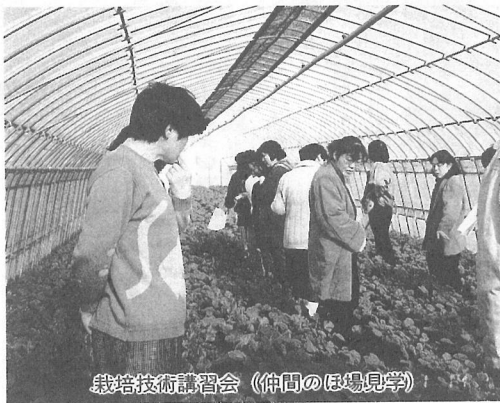


頑張ってます 女性農業者



栽培技術講習会（仲間のほ場見学）

山武地域の女性農業者は、農業の良さを実感し、自分の能力を生かして様々な活動をしています。

～輝いている女性たち～

いまの日本農業が踏んばっているのも「お母さんパワーがあればこそ」と言われるほど農村女性の力は大きくなっています。
農業で働く人（農業就業人口）の6割を女性が占めていますが、農家における女性の立場や地位は非常にいいものになっています。農業経営の発展のためには、女性の能力が十分に発揮できる環境を作っていくことが大切です。



◎農業者として

いきいき女性セミナーで栽培技術を学び、植物の生理や基礎知識を身につけ、わが家での栽培管理に意欲的に取り組んでいます。植物生理にあった管理で高品質多収生産を目指しています。



経営記帳にがんばる女性たち

◎記帳責任者として

経営支援セミナーに参加して、パソコンによる複式簿記記帳に挑戦した女性たちは、記帳責任者になって一年間の収支決算ができました。記帳結果から何が問題なのかかわかったので、改善目標ができ、この結果を生かしてもっと栽培技術を身につけたとか、財務管理や販売管理面への関心が高まっています。

◎労働報酬を得て

毎月の労働報酬をためて、自名家の土地を買い、そこでとれた米を自家飯米にしています。労働報酬を得て、仕事に張合いとやる気が出た、自由に使える安心感があると報酬の良さを強調しています。

農作業に従事する女性の労働を評価し、定期的・定額的に労働報酬を得られることは働きがいのある農家経営に大きな役割を果たしています。

◎オペレーターとして

大型農業機械の操作技術を身につけて、地域のオペレーターとして活躍している人や、家庭内でもコンバインやトラクター



女性の運転・機械操作技術も向上

を運転するようになりました。

機械操作ができることは、経営の規模拡大や体力にあつた作業の分担につながります。また、安全に機械作業をするため、女性ならではの細やかな目が作業事故防止に役立っています。

～パートナーシップを 培おう～

一家に経営主は二人はいらないという声が聞かれますが、女性が経営や生産管理等の技術を身につけることにより、経営者が不在の時や不測の事態が起きた時に対応できたり、農業経営に「生活の視点」が加えられ、消費者の農業に対する共感を増すことができ、経営の手助けや販売戦略等に大きな役割を果たすことができます。

女性のもつ能力を一層磨き、労働者から経営のパートナーとしての活躍が期待されています。
企画経営科 鶴沢 芳子

お問い合わせは
普及センター
松尾駐在
☎86-4121～2へ